

『自ら課題を発見し、主体的に解決しようとする児童の育成
～学び合い深める授業を通して～』

鹿島研究だより

鹿島小学校 R2. 5. 14

常にアップデートを！！

5月12日（水）に布川指導主事、西指導主事に研究についての相談に乗っていただきました。その中で、良い点、そしてさらに良くするための改善点についておしえていただきました。

まず、**よかった点**から・・・

- ・研究主題と付けたい資質・能力がリンクしていること
 - ・付けたい資質・能力を「問題発見・解決能力」とし、整理していること
 - ・重点として挙げてあることが、新学習指導要領にあっていていること
(3つの重点はとても大切)
 - ・学力向上ロードマッププランが分かりやすくまとめてあること
- などなど、**鹿島小学校の方向性に間違いがない！！**というお墨付きを頂きました。

では、ここからは、**さらに良くするための改善点**です！！

・**もっと問題発見・解決能力を前面に押し出してくること！！！**

そのために・・・**常にアップデート**をしていってはどうかと教えて頂きました。

アップデートすればいいのは以下の3つです。

- ①授業スタイルを整理
- ②今取り組むことをスリム化
- ③学習者主体「させる」から「したい」へ

①授業スタイルの整理

すばり、問題発見・解決能力で整理すること！！

どうなるかというと以下のように整理されます。

- | | | | |
|-------------|---|-----------------|---------------------|
| ①課題の可視化・共有化 | → | ① 問題発見の場 | まずは、授業で問題を発見し、課題設定 |
| ②対話のある学び合い | → | ② 問題解決の場 | 次に、情報活用しながら問題を解決 |
| ③自覚を深める書く活動 | → | ③ 問題発見の場 | 最後に、学びの自覚を深め、次へつなげる |



中身の内容は大きく変化していませんが、常に問題を発見し、解決し、そして新しい問題を発見していくという問題発見・解決能力が前面に出てくる流れの授業スタイルに整理します。

②今取り組むことのスリム化！！

みなさん！！もちろん本校の3つの重点は言えますよね？！

正解は・・・

- ・問題発見・解決能力を育成する単元設計の工夫
- ・課題設定の工夫（問題発見）
- ・情報活用場面の充実（問題解決）

全部言えた人はさすがです！！言えなかった人は覚えてくださいね☆

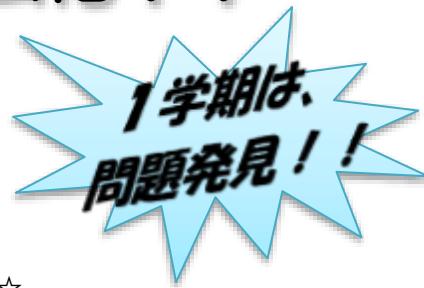
でも、三つって多いなあ・・・。

そんなあなたにピッタリの提案をいただきました。それは、**今取り組むことのスリム化**です。

そこで1学期は、問題発見・解決能力の**問題発見の部分**である**課題設定の工夫**に取組みます！！

（2学期は、問題解決の部である情報活用場面の充実）

一学期は問題発見！！を合言葉に頑張りましょう！！



③学習者主体「させる」から「したい」へ

子どもたちは今、宿題を「したい」と思っているでしょうか。私たち教員が「させる」になっていないでしょうか。授業も同じで、授業者主体の「させる」から学習者（児童）主体の「したい」にすることが大切です。

では、どうすれば「させる」から「したい」に変えることができるのか。

それは鹿島小が1学期に取組もうとしている**問題発見に大きなヒントが隠れています！！**

単元の始め、子どもたちはそんなこと「知っているよ」「できるよ」など知っているつもり、わかっているつもりになっています。それを**教師の問い合わせ**で、**本当はわかっていないことに気付かせること**で、問題が本当に自分の問題になっていく。本当の**問題を自分から発見し「したい」**という思いにさせていきます。それを繰り返すことで、自ら問題を発見し、見通しをもって解決に向かって行く力がついていきます。

